

## 事例②

# クリスマスの雰囲気を感じよう



クリスマスを題材に視覚を中心とした取組をしました。キラキラ光る雪やイルミネーションなどの様々な視覚刺激を受け止めたり、みんなで楽しく楽器演奏をしたりして、クリスマスの雰囲気を楽しみました。

### 対象

(中学部肢体不自由クラス 1年、2年 計5名)

### 活動内容

クリスマスの映像

クリスマスソング

サンタクロースから楽器のプレゼント

一人一人楽器に触れて演奏

みんなで一つの楽器を演奏

## 単元計画

### 【第一次～第三次共通】

クリスマスの映像を見る。



### 【第一次】

クリスマスソングを聴く。



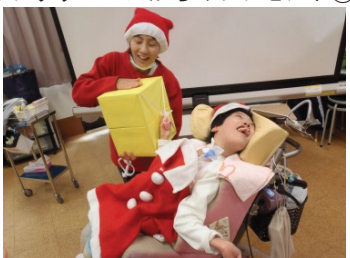
### 【第二次～第三次共通】

サンタクロースからのプレゼント①



### 【第二次～第三次共通】

サンタクロースからのプレゼント②



### 【第二次】

個別に楽器に触れて音を出す。



### 【第三次】

みんなで一つの楽器を鳴らす。



## 設定の理由

- ・光、音など、構成要素が多彩でメリハリがつけやすい。
- ・毎年取り組んできており、親しみのある題材である。
- ・地域など様々な場で広く取り上げられている。
- ・サンタクロース役などの役割が設定しやすく、プレゼントを届ける活動などで授業の中での役立ち感が持てる。またそれを生活につなげやすい。

## 将来へのつながり

五感を使って積極的に外界とかがわれる力を基盤にして、交流及び共同学習や地域で行われる季節行事などに、緊張しすぎることなく参加できるようになってほしい。

## 工夫のポイント

- ・ゆったりした流れで展開する中にも明暗があって、生徒がとらえやすい映像を選んだ。
- ・見やすい姿勢・角度を整えた上で、必要以上の声掛けや姿勢変換をせず、生徒が自分のペースで映像を見たり雰囲気を受け止められるようにした。
- ・生徒が映像に気付いたり、見たりしやすい環境づくり。(スクリーンの大きさ、角度、同じ映像を2回繰り返す等)
- ・楽器遊びに取り組むことで聴覚に働き掛け、楽器の音への気付きを促した。